

# 福島をくり返すな!! 伊方原発再稼働を許さない!! えひめ県民集会&デモ

2018年10月21日(日)14:00スタート  
坊っちゃん広場(松山市駅前)

- 14:00～ 主催者挨拶 伊方原発をとめる会事務局長 草薙順一  
弁護団報告 伊方原発をとめる弁護団事務局長 中川創太  
各地からのアピール  
集会宣言の採択  
閉会挨拶 伊方原発をとめる会幹事 堀内美鈴  
デモの説明
- 15:00～ デモ行進  
坊っちゃん広場 ⇒ 銀天街⇒大街道⇒ 大街道一番町口  
(流れ解散です)



## 伊方原発をとめる会

790-0003 愛媛県松山市三番町5-2-3ハヤシビル3F  
電話 089-948-9990 FAX 089-948-9991  
HP <http://www.ikata-tomeru.jp>

## 伊方原発の再稼働を許さない！えひめ県民集会集会宣言（案）

四国電力は、今月27日に伊方原発3号機の再稼働を行おうとしています。原発は、万一過酷事故を起こせば甚大な被害を、それも取り返しのつかない深刻な被害を人々にもたらします。

2011年3月に発生した東京電力福島第一原発の事故が、その悲惨さを物語っています。原子炉から拡散された放射性物質によって、100万人に1人か2人とされている子どもたちの小児甲状腺ガンが、なんと200名を超える規模で発生しています。国や東京電力はこうした事態に対して原発事故とは無関係と居直っていますが、心ある専門家は原発事故に由来すると指摘しています。

そして7年半を経た今もなお、復興庁の公式発表でも5万人を上回る避難者が、苦しい避難生活を続けておられます。

福島の原発は広大な平地に立地していましたが、細長い佐田岬半島にある伊方原発では、その地形からして住民の避難は困難を極めます。大規模災害や悪天候下で、被ばくをしないで安全に避難することはできません。

仮に事故を起こさず安全に運転し続けたとしても、原発は「死の灰」を生み出します。「死の灰」は、人間が近寄れば瞬時に即死する高度に汚染された有害物で、それを無害化する技術はありません。数万年という気の遠くなる期間にわたって管理することが必要不可欠です。

いま日本列島の地震活動は、阪神大震災以降、静穏期から活動期に突入したと言われています。伊方原発は、地震の発生源と恐れられている中央構造線の直近に位置しているばかりでなく、南海トラフによる巨大地震の発生の危険性も増しています。

風力や太陽光など自然エネルギーが増えたことで、四国全体の発電能力は原発の稼働がなくても十分に賄える中で、危険この上ない原発を、それも子々孫々に負の遺産を押し付けてまで再稼働することに何の道理もありません。

四国電力が一刻も早く3号機の再稼働を断念するよう強く求めます。また、愛媛県知事や伊方町長をはじめ関係者は、地域住民の生命と安全を守る立場から、再稼働を阻止するためにその権限を行使することを強く求めます。

2018年10月21日

伊方原発の再稼働を許さない！えひめ県民集会 参加者一同

### シュプレヒコール

伊方原発は再稼働するな！  
福島を繰り返すな！  
伊方原発は 廃炉にせよ！  
3号機は このまま廃炉にせよ！  
四国電力は 住民を危険にさらすな！  
原発がなくても、電気は足りている！  
瀬戸内海を 死の海にするな！  
自然エネルギーを 推進せよ！

原発いらない 今すぐ廃炉  
子どもを守れ  
愛媛を守れ  
四国を守れ  
未来を守れ  
みんなで守れ  
海を汚すな  
瀬戸内汚すな 今すぐ廃炉